

長崎市表彰式を開催



長崎ブリックホールで74名9団体を表彰しました

4月1日、市政の発展に貢献したかたや、文化・スポーツで活躍されたかたを市政功労、市政協力、特別表彰として表彰。市政功労表彰のかたは次のとおり(順不同・敬称略)。**〔地方自治〕**篠崎正博、笹屋欣司、米倉東代子、高久保勇、久米直、佐藤正洋、板坂博之、中村値通子、鶴田誠二、永富八寿子 **〔観光国際交流〕**日本語ネットワークIN長崎 **〔商工〕**山口守、横尾和敏、山崎俊郎、大串光基、桐和喜 **〔平和〕**岩永芳次郎 **〔まちづくり〕**山下政郎 **〔教育文化〕**村里杉雪、田川ヤス子、飛永征一、竹下潤一郎、松川暢男、千々岩秀夫、伊藤年徳、中里克彦、末永建男、浦川靖子、手嶋敏子、岩本憲、許斐義彦、菅原秀道、小林保、垣内一幸、江頭寛、北野正孝、柴原敏昭、岩本久美子、有田信一、野口のり子 **〔社会福祉〕**金富竹志、高比良英子、松尾恵子 **〔保健環境〕**野田剛稔 **〔交通安全〕**山内岩男、古澤一三 **〔防災〕**相川巖、竹口一喜、藤下武信 **〔德行〕**佐藤弘明
 ■問い合わせ 秘書課(☎829-1110)

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために



関係団体が連携し、高齢者をサポートしていきます

3月23日、地域包括ケアシステム構築に向けて、医療、介護、法律などの11団体と連携協定を締結しました。
 ■問い合わせ 地域包括ケアシステム推進室 (☎829-1421)

平和の尊さを後世に伝えていくために



記念誌を執筆した「長崎原爆の戦後史をのこす会」のメンバー

3月23日、記念誌「原爆後の70年ー長崎の記録と記憶を掘り起こす」の完成発表がありました。
 これは、被爆70周年記念事業として、被爆者などで作る市民団体「長崎原爆の戦後史をのこす会」が、聞き取り調査や資料調査などを行いまとめたもので、戦後の被爆者らの生活や平和運動などが記されています。
 記念誌は約500部出版され、一部が県内の図書館や市内の高校などに寄贈されました。
 ■問い合わせ 調査課(☎829-1147)

長崎みなとメディカルセンター成人病センター閉院



124年の歴史に幕を閉じました

明治25年4月に長崎市避病院として開設し、多くの人に利用していただいた同センターは、3月27日をもって閉院し、長崎みなとメディカルセンター市民病院と統合しました。
 同センターで長年担ってきた透析医療・感染症医療・結核医療は、引き続き長崎みなとメディカルセンター市民病院で実施しています。
 ■問い合わせ 市立病院機構(☎822-3251)